

いつ起きても おかしくない 大地震 ふだんの備えは 大丈夫？



最新ニュース

■ 昨年12月 深夜の地震にたまげた！ 6日午前0時過ぎ 池田町で震度4

震源の深さは約10km。M5.2の地震で、池田町でも住宅の瓦屋根の落下、土壌のひび割れなどの被害が数件発生しました。

■ 活断層地震による大地震の可能性 牛伏寺断層が全国トップ

国立研究開発法人の産総研・地質調査総合センターによると、熊本地震のあと活断層地震の可能性のある地域の第1位が長野県牛伏寺断層。その発生確率は25%とされています。

活動間隔がおよそ1000年のところ、この1200年動いていないので、いつM7～8の大地震が起きてもおかしくないというのです。

■ 明科一諏訪湖南での 大地震確率は最大30%

<政府の地震調査研究推進本部のデータ>

[北部（小谷-明科）区間]

地震の規模：M7.7程度

地震発生確率：30年以内に0.008%～15%

[中北部（明科-諏訪湖南方）区間]

地震の規模：M7.6程度

地震発生確率：30年以内に13%～30%

役員会で検討中の 大震災時の避難の手順

大地震発生

- 震度6強以上想定

身を守る

- 室内の安全な場所へ
- 頭を守る
- あわてて外に出ない

安全を確認して外へ

- 救助が必要な場合はとなり近所の人助けを求める。

避難開始

- 非常持ち出し品
- ブレーカーを落とす
- 夜はヘッドライト

防災班ごとに行動

- 安否・けがなどの確認
- できる範囲で救助活動
- 1次避難所へ移動

防災班づくりを
検討しています

避難所で

災害時活動のてびき にもとづいて行動

- 先着から避難所マニュアルの箱を開封
- 作業の分担と避難所開設の準備
- 入所名簿整備
- 安否確認、救助・救護活動
- 生活できるように準備

マニュアルの案を
検討しています

案の概略を3月の自主防災会総会で説明します。

